

優良な協働事例の紹介

～イオンモール宮崎と宮崎県の協働～

宮崎県と包括連携協定を締結しているイオン株式会社と宮崎県による協働の取組について、御紹介します。



1 協働に至った経緯

平成25年8月5日に宮崎県とイオン株式会社と包括連携協定を締結し、幅広い分野において県政情報を発信するため、イオンモール宮崎のイベント会場を利用させていただいております。



○ 協定書の内容

(目的)

第1条 本協定は、甲及び乙が相互に緊密に連携することにより、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進し、地域の一層の活性化と県民サービスの向上に資することを目的とする。

(連携事項等)

第2条 甲及び乙は、前条に規定する目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について連携して取り組むものとする。

- (1) 地産地消の推進、県産品オリジナル商品の開発と販売に関すること
- (2) 観光情報・振興に関すること
- (3) 地域防災・安全・安心に関すること
- (4) 高齢者・障がい者支援、子ども・青少年育成に関すること
- (5) 健康増進・食育に関すること
- (6) 環境対策、リサイクルに関すること
- (7) その他、県政情報PR・発信に関すること

県民の記憶に残る良いイベントにつながるよう、イオンモール宮崎の担当者と県の担当者が事前に打合せを行い、目的の共有や、イベントの細かな調整等を行っています。

今回、令和6年11月2日にイオンモール宮崎で開催された「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」開催決定イベントの事前打合せの様子やイベント当日の様子をご紹介します。

2 協働イベント例 「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」開催決定イベント

(1) 事前打合せ (令和6年10月吉日)

令和6年10月吉日に事前打合せを実施。事前打合せは県担当者、イベント受託業者、イオンモール宮崎担当者の3者が集まり実施しました。

まず、県の担当者からイベントの趣旨や当日の流れについて説明があり、次に受託業者から資料を用いて、当日のタイムスケジュール、出演者の会場入り時間・動線、前日準備の段取り、広報物の配置など詳細な説明が行われました。

イオンモール担当者は、各イベントを長年見られており、良いイベントを実施するための適切なアドバイスや提案などをいただき、両者による前向きな意見交換が行わ

れていました。

その後、実際に使用する場所を確認し、会場の規模感や物品の配置などを念入りに確認していました。



(2) イベント当日の様子（令和6年11月2日）

イベント当日は、特別バンド「ひなたサイン」による大会イメージソング「ひなたのチカラ」の生演奏や有名アスリートによるトークショー、さらには、競技体験コーナーなどに多くの県民が集まり、開催を祝し、盛り上がった一日となりました。



3 協働のポイント

イオンモール宮崎と県との協働には次の3つのポイントがあります。

①相互に「リスペクト」しての協働

互いに多くの業務を担っていることなどを理解し、互いの立場や思いに最大限の敬意を払っていることで、長年に渡り良好な関係を築き、協働ができている。

②相互に持つ資源を有効に活用した協働

イオンモール宮崎は県内随一の集客力を持つ商業施設、県は情報の正確性や発信力の高さによる信頼性など、互いの持つ強みを掛け合わせて、効果的なイベントを実施できている。

③「より良いイベントにしたい」という思いを大事にした協働

「少しでも県民の生活に役立つ情報を届けたい」、「多くの人にイベントに足を運んで欲しい」など思いを共有し、互いの気持ちを尊重した協働ができている。

4 事業成果

- 来館した県民に対し、「2027年日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」に関心を持ってもらう機会となり、開催に向けた気運醸成ができた。
- イオンモール宮崎の社会貢献活動につながり、また大規模イベントの開催により県民の来館するきっかけとなった。
- イベントや実施のアドバイスをいただくことにより、県だけでは実現できない素晴らしいイベントを開催することができた。

5 おわりに

イオンモール宮崎において令和5年度には約70件の県政イベントを協働で実施しました。

イオンモール宮崎には、多くの県民に興味関心を持ってもらうため様々なイベントを行い、県政情報発信に大きく貢献いただいています。これからも宮崎県だけでは実現できない素晴らしいイベントを多数行って行く予定です。

今後もそれぞれの特性や強みを生かした協働を行い、県民の生活向上につなげていきます。



【県防災の日フェア】



【陸海空 交通フェスタ】